

都市再生整備計画(第4回変更)

手良地区

長野県 伊那市

平成28年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	伊那市	地区名	手良地区	面積	573 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標
地域住民の交流や活動の促進による「市民が主役」のまちづくりの推進

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>生活様式の変化から、地域住民のニーズは複雑化・多様化していますが、行政での対応にも限界があるため、地域と行政との明確な役割分担が必要となっています。しかしながら、少子・高齢化、核家族化が進む中で、地域でのつながりが希薄化しており、地域活動や文化・伝統の継承などへも支障が出ている状況にあります。そのため、地域住民の交流を促し、お互いの理解を深め、助けあうことのできる地域を再構築することが必要となっています。</p> <p>当地区には、地域住民の交流や地域活動の拠点となる既存のコミュニティ施設があります。しかしながら、当該施設は、老朽化が著しく、防災やアクセシビリティの観点からの整備が不十分で、拠点施設としての機能を十分に果たせていない状況にあり、地域住民から強い改善の要望があります。また、拠点施設においては、地域住民の交流や活動の促進のため、各種講座等を開催していますが、活動が固定化しており、新たな交流が生まれにくい状況にあり、活動の活性化が必要となっています。</p>

課題
<p>地域住民の交流及び地域活動の拠点となるコミュニティ施設の改善</p> <p>地域住民の交流促進のためのコミュニティ施設における活動の活性化</p>

将来ビジョン(中長期)
<p>○第1次伊那市総合計画 市の将来像『二つのアルプスに抱かれた自然共生都市』(副題『～人と歴史と文化を育む 活力と交流の美しいまち～』)を実現するため、基本目標に『「市民が主役」のまちづくり』を掲げ、『地域の個性を大切にしたいまちづくり』を主要施策とし、『市民自らが地域課題を解決し、地域個性を大切にしたい地域づくりを進める「市民自治」の確立』をめざしています。</p>

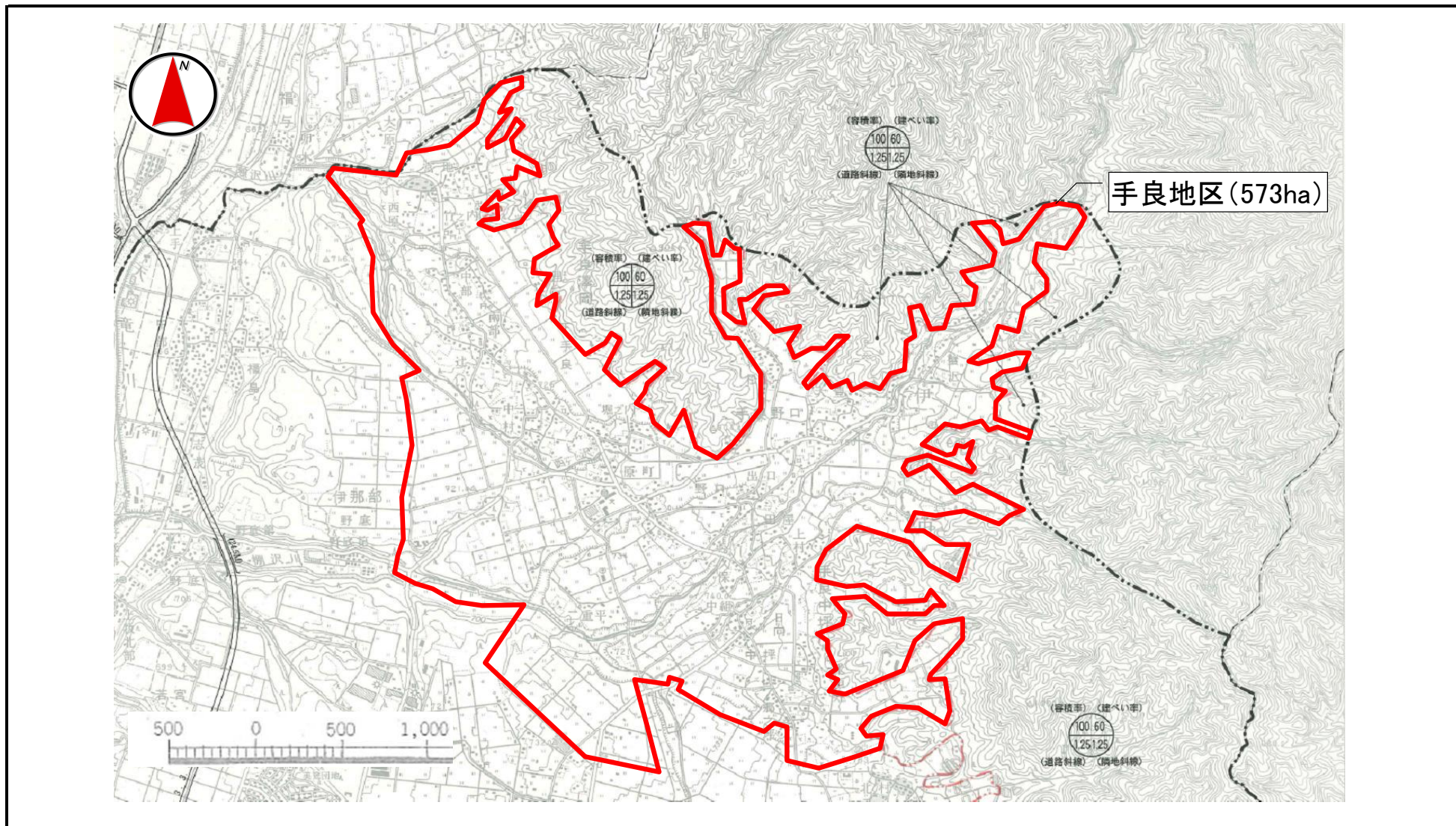
目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地域交流センター利用者数	人	地域交流センターの1年間の利用者数	地域交流センターの利用者数の増加により、地域住民の交流や活動の促進が期待される。	5,331	平成22年度	7,000	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○地域住民の交流及び地域活動の拠点となるコミュニティ施設の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災及びアクセシビリティに配慮した新たな施設の建設及び周辺の道路環境の改善を図り、だれもが訪れやすく、使いやすい、地域住民の交流の拠点となる新たなコミュニティ施設を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業：市道野底手良線（基幹事業） ・高次都市施設：（仮称）手良地域交流センター（基幹事業）
<p>○地域住民の交流促進のためのコミュニティ施設における活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなコミュニティ施設において、各種講座等を開催し、地域住民の新たな交流を促進し、活動を活性化させる。 ・新たなコミュニティ施設に、地域のニーズにあった施設を複合的に整備し、新たな交流機会を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業：公民館活用事業（提案事業） ・地域創造支援事業：手良図書室整備（提案事業） ・手良支所整備（関連事業）
<p>その他</p>	

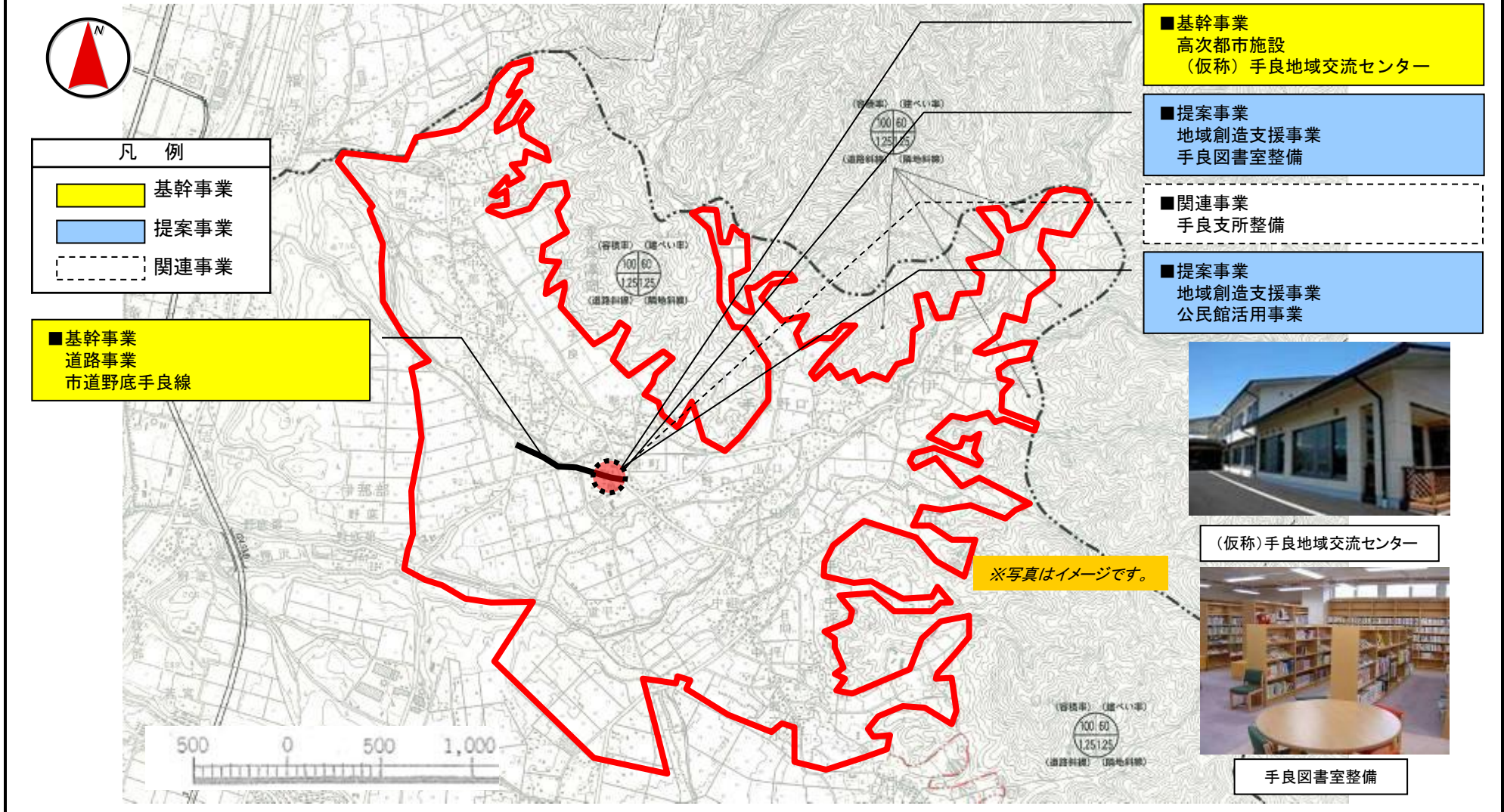
都市再生整備計画の区域

手良地区(長野県伊那市)	面積	573 ha	区域	伊那市手良の一部
--------------	----	--------	----	----------



手良地区(長野県伊那市) 整備方針概要図

目標	地域住民の交流や活動の促進による「市民が主役」のまちづくりの推進	代表的な 指標	地域交流センター利用者数 (人)	5,331 (22年度)	→	7,000 (28年度)
				(年度)	→	(年度)
				(年度)	→	(年度)



(仮称)手良地域交流センター



手良図書室整備